

# ことばの学び

a new way of learning Japanese



臨時増刊号 vol.2

特集 これからの漢字指導

暖 嵐 彙 唄 芯 鶴 虹 咽 麓 璃



—「常用漢字表」の  
改定を受けて—

# 漢字指導の ゆくえ

二〇一〇（平成二十二）年十一月三十日、二十九年ぶりに改定された「常用漢字表」が内閣告示されました。パソコンや携帯電話などの情報機器の普及で、接する機会が増えた漢字など一九六字が追加され、使用頻度の減った五字が削除されました。これにより常用漢字は、一九四五字から二一三六字へと大幅な増加となりました。また、新たな音訓も追加されました。

この改定により追加された多くは中学校での配当（学習対象）となります。さて、私たちは、これからの中学校の漢字指導を、どのように考えればよいのでしょうか。

## ■ 目次 ■

### 改定

学校教育での取り扱い …… 2

### 変化

「漢字に関する事項」一覧 …… 3

### 提案

これからの漢字指導について …… 4

### 考察

「かぐ」は「犬」？「大」？

漢字の字形指導を考える …… 5

改定された常用漢字一覧 …… 7

漢字教育の主な流れ …… 8

# 改定

## 「常用漢字表」

### 学校教育での取り扱い

小・中学校での漢字指導は、それぞれ、次のようになります。

#### 小学校

●「読み」、「書き」とともに、引き続き現行の学年別漢字配当表に基づいて指導する。

#### 中学校

●「書き」の指導については変更はないが、「読み」の指導については、追加された196字のうち1・2年生に50〜100字、残りを3年生にそれぞれ割り振る。

●平成24年度から全面实施される新中学校学習指導要領において適用される。

●平成23年度までは従来どおりの取扱いとするが、追加された常用漢字についても、その必要性や使用頻度などを勘案して適宜指導することができるとする。

#### 筆写（手書き文字）

●小学校の学年別配当漢字表に示された漢字の筆写の指導については、これまでどおり学年別漢字配当表の字体を標

準として指導する。

●改定後の常用漢字表の「(付)字体についての解説」の第2の3にあるような「筆写の楷書字形と印刷文字字形の違いが、字体の違いに及ぶもの」についての筆写の楷書の指導については、次の通りとする。

ア 中学校における漢字の「読み」の指導過程で筆写する場面等においては、印刷文字字形に倣って指導することを標準とする。なお、それぞれの漢字の特性や生徒の実態に応じて、字体の違いに及ぶ指導を行ってもよい。

イ 高等学校においては、中学校までの指導を踏まえて、各学校が生徒や教材等の実態に応じて適切に指導すること。

●改定後の常用漢字表においても、「(付)字体についての解説」の「第1 明朝体のデザインについて」や「第2 明朝体と筆写の楷書との関係

#### ◆「常用漢字表」改定の概要◆

改定によって字種が1945字から2136字に増加したほか、音訓、付表の語についても追加と変更、削除が行われました。(P.6～7参照)

- ・字種 追加 196 字、削除 5 字
- ・音訓 追加 28、変更 1、削除 3
- ・付表 追加 6 語、変更 5 語

1945 字 → 2136 字



について」の記載があることを踏まえ、児童生徒が書いた漢字の評価については、指導した字形以外の字形であつても、指導の場面や状況を踏まえて、柔軟に評価すること。

#### 入試での対応

●平成27年度から高校、大学入試で出題することができる。

(参考資料) 文部科学省「常用漢字表の改定に伴う中学校学習指導要領の一部改正等及び小学校、中学校、高等学校等における漢字の指導について(通知)」



# 変化

学習指導要領

## 「漢字に関する事項」一覧

常用漢字表が改定されたことに伴い、学習指導要領の「漢字に関する事項」も以下のように変更されました。 \_\_\_\_\_ は変更箇所

	(ア)	(イ)
中学校 1年生	小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち、 <u>300字程度から400字程度</u> までの漢字を読むこと。	学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
中学校 2年生	第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち、 <u>350字程度から450字程度</u> までの漢字を読むこと。	学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
中学校 3年生	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。	学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。

〈中学校での指導〉

- 小学校配当漢字－1006字を書き、使い慣れる。
- 中学校配当漢字－1130字の大体を読む。

中学校3年生  
280～480字

中学校2年生  
350～450字

約200字の増

どのようにして、  
漢字の力をつけていけばいいでしょうか

中学校1年生  
300～400字

# これからの漢字指導について **提案**

これから、中学校でどのように漢字の指導を行えばよいのでしょうか。  
現行学習指導要領との比較も踏まえ、新しい指導の方法について考えました。

## 漢字の「書き」に関する指導内容の比較

	新学習指導要領	現行学習指導要領
中学校 1年生	右に同じ	学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
中学校 2年生	学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	学年別漢字配当表の漢字のうち950字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。
中学校 3年生	学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。	学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

### 新しい漢字指導

小学校配当漢字を  
**使**いこなす



#### 書き

- 繰り返し学習
- 意味や用法でまとめた学習
- 漢字を書く機会を増やす
- 辞書を引くことを習慣づける

小学校配当漢字

中学校配当漢字を  
**身**につける



#### 読み

- 意味や使用場面でまとめた  
取り立て学習
- 社会生活に生きる用例での学習
- 触れる機会を増やす
- 短文・短句の中で学習する

中学校配当漢字

# 考察

## 「かぐ」は「犬」？「大」？

—漢字の字形指導を考える—



新しい常用漢字の中には、筆写での字形指導に関して「揺れ」のある漢字が含まれています。その代表的なものは、「二点しんにゅう」（「謎 - 謎」など）や「しよくへん」（「餌 - 餌」など）ですが、それ以外にも字形指導の際に配慮しておきたい漢字をまとめました。

左は、新しい常用漢字表で示された字形

右は、小・中学校でのこれまでの漢字指導に合わせた字形

1) しんにゅう	→ 逆 - 逆	↓ 遜 - 遜	↓ 謎 - 謎	
2) しよくへん	↓ 餌 - 餌	↓ 餅 - 餅		
3) 方向	↓ 淫 - 淫	→ 恣 - 恣	煎 - 煎	嘲 - 嘲
	溺 - 溺	蔽 - 蔽		
4) 点画	嗅 - 嗅	賭 - 賭	箸 - 箸	↓ 僅 - 僅
5) その他	惧 - 惧	詮 - 詮	抄 - 抄	諭 - 諭
6) デザイン	→ 茨 - 茨	吐 - 吐	枋 - 枋	牙 - 牙
	韓 - 韓			

こうした漢字の字形ついて、常用漢字表の解説では、「柔軟に評価する」（P.2 参照）となっていますが、

- 小・中学校でのこれまでの漢字指導の実際。
- 新たに加わった漢字の、教科書でのこれまでの使用の実態。

という観点から、上記枠内の「右」に示した字形で指導することが妥当ではないかと考えています。さて、先生方は、どのようにお考えですか。



今までと変わらず  
学習できればいいなあ。

現行「常用漢字表」から追加・削除された字種, 変更・追加・削除された音訓の一覧表を以下に示しました。

溺	デキ おほれる	虹	にじ	餅	へい もち	闇	やみ	弄	ロウ もてあそぶ
墳	テン	捻	ネン	壁	へき	喩	ユ	籠	ロウ かご
妬	ト ねたむ	罵	バ ののしる	蔑	ベツ さげすむ	湧	ユウ わく	麓	ロク ふもと
賭	ト かける	剥	ハク はがす はぐ はがれる はげる	哺	ホ	妖	ヨウ あやしい	脇	わき
藤	トウ ふじ	箸	はし	蜂	ホウ はち	瘍	ヨウ	<現行付表の変更>	
瞳	ドウ ひとみ	汜	はん	貌	ボウ	沃	ヨク	こじ	居士
柝	とち	汎	ハン	頰	ほお	拉	ラ	さつき	五月
頓	トン	汎	ハン	睦	ボク	辣	ラツ	かあさん	母さん
貪	ドン むさぼる	阪	ハン	勃	ボツ	藍	ラン あい	とうさん	父さん
井	どんぶり どん	斑	ハン	昧	マイ	璃	リ	あま	海女, 海士
那	ナ	眉	ビ ミ まゆ	枕	まくら	慄	リツ	<付表に追加>	
奈	ナ	膝	ひざ	蜜	ミツ	侶	リョ	鍛冶	かじ
梨	なし	肘	ひじ	冥	メイ ミョウ	瞭	リョウ	固唾	かたず
謎	なぞ	阜	フ	麵	メン	瑠	ル	尻尾	しっぽ
鍋	なべ	訃	フ	冶	ヤ	瑠	ロ	老舗	しにせ
匂	におう	蔽	へい	弥	や	呂	ロ	真面目	まじめ
						賂	ロ	弥生	やよい

<音訓の変更>

- 1 側 (訓：かわ) → 「がわ」と変更。

<音訓の追加>

- |               |               |                  |
|---------------|---------------|------------------|
| 1 委 (訓：ゆだねる)  | 11 匂 (音：シュン)  | 21 中 (音：ジュウ)     |
| 2 育 (訓：はぐくむ)  | 12 伸 (訓：のべる)  | 22 描 (訓：かく)      |
| 3 応 (訓：こたえる)  | 13 振 (訓：ふれる)  | 23 放 (訓：ほうる)     |
| 4 滑 (音：コツ)    | 14 粹 (訓：いき)   | 24 務 (訓：つとまる)    |
| 5 関 (訓：かかわる)  | 15 逝 (訓：いく)   | 25 癒 (訓：いえる・いやす) |
| 6 館 (訓：やかた)   | 16 拙 (訓：つたない) | 26 要 (訓：かなめ)     |
| 7 鑑 (訓：かんがみる) | 17 全 (訓：すべて)  | 27 絡 (訓：からめる)    |
| 8 混 (訓：こむ)    | 18 創 (訓：つくる)  | 28 類 (訓：たぐい)     |
| 9 私 (訓：わたし)   | 19 速 (訓：はやまる) |                  |
| 10 臭 (訓：におう)  | 20 他 (訓：ほか)   |                  |

<音訓の削除>

- 1 畝 (訓：せ)                      2 疲 (訓：つからす)                      3 浦 (音：ホ)

<削除字種>

- 1 匂 (シャク)    2 鍾 (スイ, つむ)    3 銃 (セン)    4 脹 (チョウ)    5 匂 (もんめ)

改定された常用漢字一覧

<追加字種>	
漢字	音訓
挨	アイ
曖	アイ
宛	あてる
嵐	あらし
畏	イおそれる
萎	イなえる
椅	イ
彙	イ
茨	いばら
咽	イン
淫	インみだら
唄	うた
鬱	ウツ
怨	エンオン
媛	エン
艶	エンつや
旺	オウ
岡	おか
臆	オク
俺	おれ
苛	カ
牙	ガゲきば
瓦	ガかわら
楷	カイ
潰	カイつぶす つぶれる

諧崖 蓋 骸 柿 顎 葛 釜 鎌 韓 玩 伎 亀 毀 畿 白 嗅 巾 僅 錦 惧 串 窟 熊 詣 憬 稽

カイ  
ガイがけ  
ガイふた  
ガイ  
かき  
ガクあご  
カツくず  
かま  
かま  
カン  
ガン  
キ  
キかめ  
キ  
キ  
キユウ  
キユウす  
キユウかぐ  
キン  
キンわずか  
キンにしき  
グ  
くし  
クツ  
くま  
ケイもうでる  
ケイ  
ケイ

隙 桁 拳 鍵 舷 股 虎 錮 勾 梗 喉 乞 傲 駒 頃 痕 沙 挫 采 塞 埼 柵 刹 拶 斬 恣

ゲキすき  
けた  
ケンこぶし  
ケンかぎ  
ゲン  
コマた  
コとら  
コ  
コウ  
コウ  
コウのど  
こう  
ゴウ  
こま  
ころ  
コンと  
サ  
ザ  
サイ  
サイソク  
ふさぐ  
ふさがる  
さい  
サク  
サツセツ  
サツ  
ザきる  
シ

摯 餌 鹿 叱 嫉 腫 呪 袖 羞 蹴 憧 拭 尻 芯 腎 須 裾 凄 醒 脊 戚 煎 羨 腺 詮

シ  
ジえさえ  
しかか  
シツしかる  
シツ  
シュはれる  
はらす  
ジュのろう  
シュウそで  
シュウ  
シュウける  
ショウあこがれる  
シヨク  
ふくぬぐう  
しり  
シン  
ジン  
ス  
すそ  
セイ  
セイ  
セキ  
セキ  
センいる  
センうらやむ  
うらやましい  
セン  
セン

箋 膳 狙 邈 曾 爽 瘦 踪 捉 遜 汰 唾 堆 戴 誰 旦 綻 緻 耐 貼 嘲 抄 椎 爪 鶴 諦

セン  
ゼン  
ソねらう  
ソさかのぼる  
ソウ  
ゾ  
ソウさわやか  
ソウやせる  
ソウ  
ソクとらえる  
ソン  
タ  
ダつば  
タイ  
タイ  
だれ  
タン  
ダン  
タンほころびる  
チ  
チュウ  
チヨウはる  
チヨウあざける  
チヨク  
ツイ  
つめつま  
つる  
テイあきらめる

## 漢字教育の主な流れ

年月	事項	備考
1946.11 (昭和 21)	当用漢字表 (1850 字) 告示	一般の社会生活での漢字使用を制限する目的で定められたもの。
1948.2 (昭和 23)	当用漢字別表 (881 字), 当用漢字音訓表告示	義務教育で指導するいわゆる「教育漢字」が示される。
1958.10 (昭和 33)	「小学校学年別漢字配当表」	教育漢字 (881 字) を学年別に配当したもの。
1977.7 (昭和 52)	「学年別漢字配当表」の漢字を 996 字に変更	
1981.10 (昭和 56)	常用漢字表 (1945 字) 告示	一般の社会生活での漢字使用の目安として定められたもの。
1989.3 (平成元年)	教育漢字を 1006 字に変更	「豆・皿」などの 20 字が教育漢字に追加され, 「壺・是」などの 10 字が教育漢字から削除された。
1991.3 (平成 3)	音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表を作成	
2010.11 (平成 22)	改定された「常用漢字表」(2136 字) 告示	「匆・脹」など 5 字が削除され, 「鬱・俺・挨」など 196 字が追加された。
2011.3 (平成 23)	「音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表」に追加字種及び追加音訓等を追加 (予定)	

三省堂 国語教育

**ことばの学び**  
a new way of learning Japanese

臨時増刊号 vol.2

特集 これからの漢字指導

2011 年 3 月 10 日発行

●編集・発行人 北口 克彦

●発行所 株式会社 三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町 2-22-14

TEL 03 (3230) 9427 [編集] 9551 [営業]

<http://tb.sanseido.co.jp/>

